

2005年1月～2014年12月に国立がん研究センター中央病院にて子宮頸がんに対する放射線治療を受けた方へ

研究:「子宮頸がんに対する根治目的の放射線治療または同時化学放射線療法後の頸部腫瘍残存例における救済的子宮摘出術の実施状況に関する調査研究」の実施について

1. 本研究の意義および目的

子宮頸がんに対する根治的放射線治療を行なった後に、病変が遺残した場合の治療法は、手術、化学療法、再照射、経過観察などに分かれます。その実態を調査して、最適な治療方針の確立を目指すのが本研究の目的です。本研究はJCOG(日本臨床研究グループ)婦人科腫瘍グループによる多施設共同の観察研究となります。

2. 研究の方法

研究の対象となる患者さんは、国立がん研究センター中央病院において、2005年から2014年の間に治療を行った子宮頸がん患者のうち次の条件を全て満たす方です。

- ・組織型が扁平上皮がん、腺扁平上皮がん、粘液性腺がん、類内膜腺がんである。
- ・根治的放射線治療を行なっている。
- ・放射線治療後に子宮頸部に腫瘍が残存した方。

対象患者さんについて、診療録から、放射線治療の経過、追加治療の経過、追加治療による合併症、追加治療後の経過についての情報を収集し、統計学的な解析を行ないます。

取得した診療情報には番号を付与し匿名化いたします。

3. 試料等の保存および使用方法について

集積した資料は国立がん研究センター内の個人情報管理が許可されているサーバーにデータを保存します。データは研究代表施設(静岡県立がんセンター)に提出します。本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定される患者さんの数

研究期間は国立がん研究センター中央病院にて研究許可後 1年間です。予定される患者さんの数は10名です。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は婦人科腫瘍学に関する全国学会、国際学会および学術雑誌で発表いたします。

6. 研究の開示について

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法(および結果)についての資料を見ることができます。希望される場合は、下記(10)連絡先までご連絡ください。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究の対象となることを拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記(10)連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 国立がん研究センター中央病院

【研究責任者】 婦人腫瘍科 外来医長 石川光也

10. 連絡先

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 石川光也

TEL: 03-3542-2511 内線 7847

FAX: 03-3542-2547

本研究の対象となることを拒否する場合は、連絡先までご連絡下さい